

社会福祉法人 日本点字図書館

感謝録

2026 年

数多くのご支援に感謝いたします。



10 年前に創立者本間一夫生誕 100 年記念として植えた
桜（品種：春めき）が今年も美しく咲きました

感謝の言葉

社会福祉法人 日本点字図書館

理事長 長岡 英司



全国の多くの皆様から日本点字図書館にお寄せいただいた尊いご厚志への感謝の想いを込めて、今年度もこの感謝録をお届けいたします。

当法人では、創立者本間一夫の遺徳に対する社会のご理解が広く永く続くことを願い、視覚障害者の文化の向上に寄与する優れた業績をあげた個人や団体を毎年選考して「本間一夫文化賞」を贈呈しています。第22回の昨年度受賞者には、外部の有識者からなる委員会によって長野県上田市の精密機器メーカー シナノケンシ株式会社が選ばれました。同社は、視覚障害者向け録音図書のデジタル化が検討段階だった1993（平成5）年から国際プロジェクトに参画し、アクセシブルな録音図書・電子書籍の国際標準規格であるデイジー（DAISY：Digital Accessible Information SYstem）の開発と実現に大きな貢献をしました。1998年にこの規格に対応した世界初のデイジー図書プレーヤーを製品化してからは、録音図書用の優れた再生器や録音・編集ソフトの開発と供給を続けているほか、視覚障害者等のための電子図書館「サピエ」のデイジー図書オンライン配信サービス「サピエデイジーオンライン」のシステム開発と保守を担当しています。こうした功績は、録音図書を利用する側と製作する側の双方に、利便性の格段の向上をもたらしました。

1958（昭和33）年に当館が開始した録音図書事業は、オープンリール式の録音テープを郵送で貸し出すものでした。それから70年近くが過ぎて、聴く読書を巡る状況はデジタル化や情報通信技術の発達ですっかり様変わりし、いつでもどこでも能率よく快適に録音図書を利用できるようになりました。そのように環境は劇的に変化しても、録音図書を製作するための朗読は一貫してボランティアの皆様が担ってくださっています。録音や点字の図書製作をはじめとする当館の事業が、多くの皆様の様々なご支援によって成り立っていることに深く感謝いたしますとともに、引き続きのお力添えを切にお願い申し上げます。

2025 年度事業のあらまし

館 長 立花 明彦



既に当館ホームページや『にってんフォーラム』等をはじめ、多数の新聞各紙でお伝えしましたとおり、2022 年から会長職にあった田中徹二が本年 3 月に永眠しました。

田中は失明間もない 1954 年ころ、将来について創立者・本間一夫にも相談し、有用なアドバイスを得て進路を定めていきました。1955 年ころからは当館の利用者となり、図書の貸出はもとより、館で行なわれたエスペラント講座などの学習会やイベントなどにも積極的に参加しています。本間との親交や当館の利用の中で、1979 年からは評議員に、1990 年には理事に就任しますが、本間や直居副館長（当時）に請われて 1991 年、2 代目館長として招き入れられました。田中は点字・録音図書の製作におけるデジタル化を推進するとともに、アジア盲人図書館協力、自立支援課の開設など、新たな事業も展開しました。田中の旅立ちは、当法人の一時代の終わりを告げると同時に、その運営が次の世代の者に委ねられたことを明確にするものでもあり、それを託された者としては重責をひしひしと感じ、身が引き締まる思いです。

2025 年度の事業は、田中が見守った最後の年度になります。事業計画に挙げた事項は、一部完了していない項目があるものの、概ね達成できました。加えて決算も前年度に続き、赤字を免れることができ安堵しています。

うれしい受賞もありました。10 月、ゲーミング図書館アワード実行委員会主催の「ゲーミング図書館アワード 2025 優秀賞」が当館に贈られました。これは 1984 年から当館で始まった視覚障害者のための定期的なゲーム会の実績が評価されたもので、皆様と喜びたいと思います。

国際間の秩序が崩壊し、世界情勢が不透明化して、その影響が私たちの日々の生活にも押し寄せて各種の物価高騰を引き起こしています。企業や団体の運営、個々人の生活が厳しさを増しつつある中で、当館の状況や事情をご理解いただき、お力添えをくださった皆様に、ここに改めて深く感謝申し上げます。各事業の実績につきましては、次ページ以降でご報告いたします。

2025 年度 事業の実績

図書情報サービス

利用登録者数：12,753 名

新規収蔵図書数：点字図書 630 タイトル、録音図書 619 タイトル

蔵書総数：点字図書 24,281 タイトル (88,091 冊)

録音図書 28,363 タイトル (55,387 巻)

貸出数：点字図書 (冊子) 4,332 タイトル、録音図書 (CD) 61,216 タイトル

ダウンロード提供数：点字図書 375 タイトル、録音図書 93,761 タイトル

月刊録音雑誌「にってんデイジーマガジン」を 59,202 枚配布

専門対面リーディングサービス利用実績：延べ 281 名、551 時間

レファレンスサービスによる情報提供数：51,095 件

図書製作事業

製作数：点字図書 181 タイトル (835 冊)、音声デイジー図書 300 タイトル (2,582 時間) テキストデイジー図書 200 タイトル、マルチメディアデイジー図書 6 タイトル (18 時間)

ボランティア数：点訳ボランティア 49 名・7 グループ、朗読ボランティア 46 名
デイジー編集ボランティア 11 名、テキストデイジー編集ボランティア 26 名
録音図書ネットワーク製作システム参加ボランティア 76 名
クラウドソーシング型図書校正参加ボランティア 557 名

視覚障害者用具の販売あつ旋

年間取扱点数：967 種、68,897 点

新規取扱商品：点字ディスプレイ Next Touch40、タニタ音声タイマー、GRUS
ボイス電波クロック、キザキケーン (折りたたみ)、拡大読書器クローバーブッ
ク・メイト、ハンディルーペ丸型 / 角型 3.5 倍ほか

厚生労働省委託・補助事業

〔視覚障害者用図書等事業〕

点字図書：30 タイトル (6,450 冊) 製作、延べ 274 タイトル (797 冊) 貸出

録音図書：音声デイジー図書 15 タイトル、マルチメディアデイジー図書 6 タイトル
製作、延べ 870 タイトル貸出

〔盲人用具の販売あつ旋〕

盲人用具 17 種、12,937 点

〔視覚障害者等情報総合ネットワーク管理事業 (サピエ図書館)〕

会員数：個人会員 22,352 名、施設・団体会員 497 団体

提供数：

- ・点字データ 287,654 タイトル
- ・音声デイジーデータ 134,737 タイトル
- ・テキストデイジーデータ 18,997 タイトル
- ・マルチメディアデイジーデータ 590 タイトル
- ・目録 1,285,997 タイトル

利用数：

- ・点字データ 延べ 430,070 タイトル
- ・音声デイジーデータ 延べ 3,003,297 タイトル
- ・テキストデイジーデータ 延べ 209,943 タイトル
- ・マルチメディアデイジーデータ 延べ 5,855 タイトル
- ・目録検索 2,429,027 件
- ・オンラインリクエスト 190,431 件

その他、全国の点字・公共図書館等に 51,095 件の情報を提供

自立支援事業

相談支援：基本相談 235 件

自立訓練（生活訓練）：実人数 114 名、延べ回数 2,228 回

医療機関に出向いての相談会：4 回

東京都委託事業

〔点字図書の製作・貸出〕

- ・点字図書：47 タイトル（326 冊）製作、延べ 190 タイトル（682 冊）貸出

〔声の図書の製作・貸出〕

- ・声の図書：80 タイトル（400 枚）製作、延べ 2,683 タイトル（2,691 枚）貸出

〔希望図書の製作〕

- ・個人の希望する点字図書：101 名・148 件、声の図書：40 名・115 件

〔視覚障害者用図書レファレンスサービス〕

- ・都内の視覚障害者、施設団体に対し 23,623 件の情報提供

海外支援事業

〔池田輝子基金〕

マレーシアを拠点に第 21 回池田輝子 ICT 奨学金事業を実施。参加者 6 名

本部事業

〔ふれる博物館〕

- ・第16回企画展「キャラクターをさわろう ―正義と平和と愛のキャラクターに触れる―」

2025年5月21日（水）～9月13日（土）（48日間）

来場者：381人

- ・第17回企画展「にってん feel ハーモニー」

2025年11月12日（水）～2026年3月22日（土）（49日間）

来場者：404人

〔視覚障害者関係墨字資料（奥村文庫）〕

新規収蔵 673点、来室者 883名、レファレンス 1,166件、

複写サービス 141枚

チャリティコンサート

第23回本間一夫記念日本点字図書館チャリティコンサート「室内楽の愉しみ」

出演：澤 亜樹（ヴァイオリン）・澤 和樹（ヴィオラ）・鳥羽 咲音（チェロ）

菅田 利佳（ピアノ）

2025年12月13日（土） 東京文化会館小ホール

来場者：474名

川崎市視覚障害者情報文化センター（設置：川崎市／指定管理事業者：日本点字図書館）

- ・利用登録者数：506名、311団体
- ・蔵書数：点字図書 3,995タイトル（13,860冊）、録音図書 7,308タイトル
- ・貸出数：点字図書 210タイトル、録音図書 6,645タイトル
- ・ダウンロード提供数：点字図書 1タイトル、録音図書 4,269タイトル
- ・図書製作：点字図書 45タイトル、音声デージー図書 78タイトル、テキストデージー図書 1タイトル、シネマ・デージー／音声ガイド 6タイトル
- ・訓練事業：生活訓練 1名、歩行訓練 7名、パソコン訓練 1名、ICT訓練 8名、点字訓練 3名
- ・用具の展示と販売紹介：展示点数 437点、販売紹介点数 1,234点
- ・イベントの開催：音声ガイド付き DVD 映画体験上映会、コンサート、ヨガ教室、訓練生屋外交流会 他

◆◆ ご寄付へのお礼とご報告 ◆◆

2025 年度は、皆様から以下の通りご厚志を賜りました。

総件数 6,545 件 （前年度 6,815 件）

総額 123,050,242 円 （前年度 127,111,608 円）

その内訳をご報告いたします。

3,000 円未満	462 件	10 万円以上 50 万円未満	112 件
3,000 円以上 5,000 円未満	1,827 件	50 万円以上 100 万円未満	8 件
5,000 円以上 1 万円未満	1,793 件	100 万円以上	16 件
1 万円以上 10 万円未満	2,327 件	合計	6,545 件

2025 年度も篤志ある皆様のご協力により、多額のご寄付を頂戴いたしました。心より感謝申し上げます。

ご厚志をお寄せくださいました皆様、誠にありがとうございました。

このうち、10 件はご遺贈として頂戴いたしました。謹んで故人様のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族ならびに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

◆◆ 募金箱設置にご協力いただいた企業・団体 ◆◆

募金箱設置にご協力いただきました企業・団体のお名前です。28 団体の皆様から、合計 520,560 円のご協力を頂戴いたしました。

団 体 名		(五十音順)
朝日信用金庫	キリンシティ高田馬場店	
味工房 一酔万笑	国稀酒造株式会社	
医療法人社団雄飛会 平岡眼科医院	ザロイヤルパークホテルアイコニック 東京汐留	
医療法人湘山会 眼科三宅病院	指圧ハウス うえるかむ	
イル クッキアイオ ディ アンジェロ	酒洛 高田馬場	
NPO 法人千夜一夜座	自家焙煎 珈琲舎ロッセ	
小田急ホテルセンチュリーサザンタワー	沼袋すがなみ眼科	
オリンピア眼科病院	林歯科医院	
オリンピアクリニック井上眼科	文右衛門そば	
柿島屋	H A I R D O O R	
学校法人ソニー学園 湘北短期大学図書館	吉川眼科クリニック	
カモシカスポーツ	リストランテ 文流	
カラオケ館高田馬場	リッチなカレーの店 アサノ	
カラオケ館高田馬場 2 号店	和創 さくらの庭	

◆◆ ご寄付いただいた主な企業・団体 ◆◆

当館にご寄付いただきました主な企業・団体のお名前です。昨年度 452 団体の皆様から、合計 19,708,014 円のご協力を頂戴しました。紙面の都合上、ご協力いただきました企業・団体すべてを掲載できず、申し訳ございません。全団体は当館ホームページにてご覧いただけます。

団 体 名 (五十音順)	
ALLIANCE GATE 株式会社	観音寺
イオンフィナンシャルサービス株式会社	公益財団法人日本 YMCA 同盟
一般財団法人報国積善会	宗教法人真福寺
一般社団法人全国銀行協会	宗教法人浅草寺
医療法人社団雄飛会 平岡眼科医院	真宗大谷派 聞明寺
A C C 英語点訳会	全国友の会
大西眼科	つながる募金
海城学園図書委員会	東京三協信用金庫
神奈川県録音奉仕団連絡協議会	東京 I ゾンタクラブ
神奈川県眼科医会	ニシフミート株式会社
株式会社偕成社	日本出版販売労働組合
株式会社高知システム開発	P F U 労働組合
株式会社ストームレーベルズ	マッキンゼー・アンド・カンパニー
株式会社清和産業	密厳院
株式会社セゾンテクノロジー	三菱食品株式会社
株式会社日本ライセンスバンク	有限会社菱和興産
株式会社日立ビルシステム	リネットジャパングループ株式会社
株式会社ポケモン	

◆◆ 企業ボランティアのご協力 ◆◆

次の企業の社員の皆様から、休憩時間を利用したボランティア活動で、用具事業課で使用する点字シールや、再生紙などを利用した封筒作製にご協力いただきました。心より感謝申し上げます。

旭海運株式会社（現：NYK バルクシップパートナーズ株式会社）、三菱鉱石輸送株式会社（現：NYK バルクシップパートナーズ株式会社）、東京海上日動安心 110 番株式会社、東京海上日動調査サービス株式会社、日本郵船株式会社、三菱食品株式会社

◆◆ ワンブック・プレゼント運動へのご支援 ◆◆

多くの企業・団体と個人の皆様からワンブック・プレゼント運動にご支援いただきました。この運動は、一口10万円単位のご寄付を点字図書・録音図書の製作費用に充てさせていただくものです。完成した図書には、ご寄付くださった企業・団体・個人の方のお名前やメッセージなどを表示して、利用される読者の方に皆様のご支援の一端をお伝えいたします。

点 字 図 書		録 音 図 書	
協力者	口数	協力者	口数
イオンマーケティング株式会社	18	イオンマーケティング株式会社	35
共同印刷株式会社	3	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5
黒川 澄夫	2	ロクシタンジャポン株式会社	5
ロクシタンジャポン株式会社	2	ハウス食品労働組合	3
石田 和郎	1	はんだこどもクリニック	3
川嶋 あつ子	1	大竹 玉枝	2
榎本 千代乃	1	株式会社サンセイランディック	2
飛松 一樹	1	株式会社日立ビルシステム	2
日本出版販売労働組合	1	下野 恵子	2
松井 まり子	1	匿名	2
匿名	1	有馬 通志子・有馬 卓	1
匿名	1	小田川 恭子	1
		片山 郷子	1
		株式会社ニデック	1
		川嶋 あつ子	1
		黒川 澄夫	1
		飛松 一樹	1
		戸村 義典	1
		匿名	1
点字図書 合計 12 件	33 口	録音図書 合計 19 件	70 口
点字図書、録音図書 総計 103 口			

❖❖ 企業や団体からのご助成 ❖❖

2025 年度 団体助成金（施設）

団 体 名	入金額(円)	備 考
イオンリテール株式会社	67,900	「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」による助成
一般財団法人 NHK 財団	2,000,000	テレビ・デイジーの製作・貸出
一般財団法人日本宝くじ協会	2,500,000	点字図書と録音図書の製作・貸出
大阪府民共済生活協同組合	1,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出（視覚障害者の情報収集支援事業）
株式会社岩波書店	240,000	岩波新書等の録音版の製作・貸出
株式会社セゾンテクノロジー	2,500,000	視覚障害者向け書籍製作および提供にかかる必要機器等の購入費
株式会社文藝春秋	960,000	録音雑誌「文藝春秋」の製作・配布
教職員共済生活協同組合	2,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出（視覚障害者の情報収集支援事業）
公益財団法人 JKA	3,039,000	月刊録音雑誌「医学研究」及び「ホームライフ」の製作・配布（障がいのある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業）
公益財団法人鉄道弘済会	1,800,000	録音雑誌「ブックウェーブ」の製作・配布
公益財団法人一ツ橋総合財団	5,000,000	録音図書「一ツ橋文庫」の製作・貸出
		テキストデイジー図書の製作・提供
		録音図書ネットワーク製作システム「びぶりお工房」の維持運用
		音声・テキスト化における製作支援(生成 AI の活用)
公益財団法人毎日新聞東京社会事業団	100,000	第 8 回全国視覚障害者囲碁大会開催費
公益信託久保記念点字図書援助基金	311,740	点字・録音図書の購入費
埼玉県民共済生活協同組合	2,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出（視覚障害者の情報収集支援事業）
社会福祉法人新宿区社会福祉協議会	101,000	備品整備・施設整備（株）日本財託助成金
社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団	100,000	第 8 回全国視覚障害者囲碁大会開催費
社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団	100,000	第 8 回全国視覚障害者囲碁大会開催費
社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団	100,000	チャリティコンサート開催費
社会福祉法人読売光と愛の事業団	700,000	対面リーディングサービス事業
		ロービジョンサービス事業
		視覚障害者就労支援のための機器購入費
全国生活協同組合連合会	2,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出（視覚障害者の情報収集支援事業）
全国ラジオ・チャリティ・ミュージックソン実行委員会	1,000,000	録音図書のデイジー編集作業費
全国労働者共済生活協同組合連合会	1,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出（視覚障害者の情報収集支援事業）
東京新聞社会事業団 （社会福祉法人中日新聞社会事業団 東京支部）	150,000	自立支援事業用什器の入替え事業費

◆◆ チケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前 ◆◆

当館が主催したチャリティコンサートチケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前です。7団体の皆様から、合計120,000円のご協力を頂戴しました。団体名は、当館ホームページにてご覧いただけます。

団 体 名 (五十音順)	
一般財団法人AVCC	社会福祉法人視覚障害者支援総合センター
株式会社サン・データセンター	P F U労働組合
株式会社西武洋紙店	有限会社大橋洋紙店
公益財団法人すこやか食生活協会	

◆◆ イベント協賛・広告掲載をいただいた企業 ◆◆

当館が主催したチャリティコンサートへの協賛、また当館発行機関紙「ってんフォーラム」に広告掲載のご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

株式会社イオン銀行、株式会社マルハチ村松、国稀酒造株式会社、イオンフィナンシャルサービス株式会社、シナノケンシ株式会社、特定非営利活動法人メディア・アクセス・サポートセンター、三菱電機株式会社

◆◆ 池田輝子基金事業のご報告 ◆◆

高田馬場の篤志家・池田輝子氏より寄贈されたマンション2棟の家賃収入をもとに、3つの基金事業を実施しました。

1. 池田輝子記念文庫製作事業

スタジオ録音及びデジタイズ編集により、74タイトルの録音図書を製作。

2. ふれる博物館事業

- ・キャラクターをさわろう ―正義と平和と愛のキャラクターに触れる―
- ・ってん feel ハーモニー

3. 池田輝子 ICT 奨学金事業

2025年6月23日～7月5日 ICT 訓練中級コース 参加者6名

◆◆ ポストカード運動へのご支援 ◆◆

当館では、書き損じはがきや未使用のはがきをご寄贈いただいております。郵便局で切手に交換して日常業務に不可欠な通信費の一部に充当させていただいております。

2025年度は59名様からご寄贈いただき、書き損じはがきから切手への引き換え金額は257,222円になりました。

(訃報) 田中徹二会長逝去

理事長 長岡 英司



去る3月10日、会長の田中徹二が91年余の生涯を終えました。亡くなる4日前までいつもと同じように当館で募金事業の手伝いをしていましたが、週末に風邪の症状から体調を崩し、入院の翌日に容体が急変して横紋筋融解症で息を引き取りました。

1934（昭和9）年生れの田中は、早稲田大学第一理工学部建築学科在学中の19歳で網膜剥離のために失明しました。入院中から点字を習い、国立東京光明寮で三療（按摩、鍼、灸）の資格を取得するとともに、早稲田に復学して第二文学部の英文学専攻を卒業しました。1959年からは社会保険埼玉中央病院の整形外科に勤務し、その間にNHKの視覚障害者向けラジオ番組の制作協力者となって、長年にわたり番組の発展に尽力しました。そうした前向きな姿勢への評価もあって、1969年には東京都心身障害者福祉センターに転職し、視覚障害者に対する指導や支援を担当しました。

創立者・本間一夫に求められて田中が当館の館長に就任したのは1991（平成3）年でした。以後、館長と理事長を通算31年務め、2022（令和4）年に名誉職である会長に退きました。この30数年、視覚障害者の読書環境はデジタル化によって大きく様変わりしました。その代表的な一例である録音図書のデイジー化では、当館は国内の普及に関して中心的な役割を担い、田中はそれを推進しました。また、アジア・太平洋地域でデジタル機器の活用によって点字図書館の整備や視覚障害者の福祉の向上を図る国際支援にも、田中は力を注ぎました。こうしたデジタル化関連以外にも、自立訓練やふれる博物館、川崎市視覚障害者情報文化センターの運営などの当館の新たな事業が、田中の下で始まりました。

2008（平成20）年のNHK放送文化賞、2011年の旭日小綬章、2015年の点字毎日文化賞、2018年の岩橋武夫賞などの受賞は、田中の多彩な功績の社会的意義の大きさを物語っています。そうした成果の源泉となった種々の活動を支えてくださった多くの皆様に、改めて深く感謝いたします。

故人略歴

生まれ 1934 年（昭和 9）年 12 月 21 日

失明年齢 19 歳（早稲田大学理工学部建築学科在学中）

最終学歴 1958 年 3 月 国立東京光明寮二部修了
1960 年 3 月 早稲田大学第二文学部英文学専攻卒業

職 歴 1959 年 6 月 社会保険埼玉中央病院物療室勤務
1969 年 3 月 〃 退職
1969 年 4 月 東京都心身障害者福祉センター視覚障害科勤務
1979 年 5 月 社会福祉法人日本点字図書館 評議員就任
1990 年 5 月 〃 理事就任
1991 年 3 月 東京都心身障害者福祉センター退職
1991 年 4 月 社会福祉法人日本点字図書館 常務理事・館長就任
2001 年 4 月 〃 理事長就任 館長兼任
2002 年 7 月 〃 館長退任 理事長に専念
2022 年 4 月 〃 理事長退任 会長就任

就任した主な役員等

（特非）日本障害者協議会代表理事（2013 年～2014 年）
（公財）共用品推進機構評議員（2020 年 6 月まで）
（社福）全国盲ろう者協会評議員（2022 年 6 月まで）
（社福）読売光と愛の事業団評議員
（公財）日本テレビ小鳩文化事業団評議員（2025 年 6 月まで）
（社福）ぶどうの木理事（2025 年 6 月まで）
（公財）すこやか食生活協会理事（現任）
（社福）日本盲人福祉委員会評議員（現任）

表 彰 等 2002 年 第 28 回全国視覚障害者情報提供施設大会（功労者表彰）
2008 年 第 59 回日本放送協会放送文化賞
2011 年 旭日小綬章
経済産業大臣表彰
2015 年 第 52 回点字毎日文化賞
2018 年 第 38 回岩橋武夫賞
2019 年 歌会始の儀参列

主な著書 『不可能を可能に 点字の世界を駆けぬける』（岩波書店 2015 年）
『白い杖、空を行く』（読書工房 2022 年）

決算のあらまし

2025年4月1日から2026年3月31日

単位（千円）

事業活動による収支（収入）	
障害福祉サービス事業収入	30,694
点字図書館事業収入	601,250
盲人用具販売事業収入	365,896
マンション経営事業収入	44,868
本部事業収入	2,860
経常経費寄附金収入	133,595
受取利息配当金収入	7,339
その他の収入	9,844
事業活動収入計（1）	1,196,349
事業活動による収支（支出）	
人件費支出（法人負担分）	321,626
委託・補助金事業人件費支出	273,845
事業費支出	380,819
事務費支出	123,241
支払利息支出	492
その他の支出	238
事業活動支出計（2）	1,100,263
事業活動資金収支差額（3=1-2）	96,086
施設整備等による収支（収入）	
施設整備等補助金収入	23,368
施設整備等収入計（4）	27,785
施設整備等による収支（支出）	
設備資金借入金元金償還支出	10,820
固定資産取得支出	35,096
ファイナンス・リース債務の返済支出	12,583
施設整備等支出計（5）	58,500
施設整備等資金収支差額（6=4-5）	△ 30,715
その他の活動による収支（収入）	
積立資産取崩収入	170,650
その他の活動による収入	578
その他の活動収入計（7）	171,229
その他の活動による収支（支出）	
積立資産支出	201,566
その他の活動による支出	5,079
その他の活動支出計（8）	206,646
その他の活動資金収支差額（9=7-8）	△ 35,417
当期資金収支差額合計（10=3+6+9）	29,953
前期末支払資金残高（11）	162,611
当期末支払資金残高（10+11）	192,564

※千円未満・切り捨て表示のため、内訳の合計と合計欄の金額が一致しない場合があります。

日本点字図書館のあゆみ

1940（昭和15）年	全盲の青年 本間一夫が日本盲人図書館（現在の社会福祉法人日本点字図書館）を創立 蔵書700冊
1945（昭和20）年	戦災により本館焼失 貸出は疎開先で継続
1948（昭和23）年	焼け跡に仮建築で再出発 日本点字図書館に改称
1952（昭和27）年	社会福祉法人となる
1953（昭和28）年	本間一夫が朝日社会奉仕賞受賞
1954（昭和29）年	厚生省から点字図書製作事業の委託を受ける
1958（昭和33）年	声のライブラリー発足 テープ50巻、レコード1台
1960（昭和35）年	「中途失明者のための点字教室」を開始
1966（昭和41）年	視覚障害者用生活用具の開発と普及事業を開始
1976（昭和51）年	声の図書の「カセットテープ化」を開始
1989（平成元）年	厚生大臣特別表彰（身体障害者福祉功労団体）を受賞
1991（平成3）年	パソコン点訳者養成事業開始
1994（平成6）年	アジア盲人図書館協力事業開始
1996（平成8）年	専門対面リーディングサービス開始
1998（平成10）年	国費による新別館完成 皇后陛下ご臨席のもと新館披露の式典開催
1999（平成11）年	デジタル録音図書（CD図書）の製作・貸出開始
2003（平成15）年	本間一夫と日本点字図書館が、第10回井上靖文化賞を受賞 ロービジョンサポート事業開始 創立者本間一夫他界（没年87歳）
2004（平成16）年	録音図書ネットワーク配信サービス「びぶりおネット」開始
2005（平成17）年	ユニバーサルデザイン推進室（UDラボ）設置 録音図書ネットワーク製作システム（びぶりお工房）開始
2007（平成19）年	アジア太平洋障害者の10年の中間年記念 内閣総理大臣表彰受賞
2008（平成20）年	チャリティコンサートに皇后陛下のご臨席を賜る
2009（平成21）年	CD雑誌「にってんデイジーマガジン」創刊
2010（平成22）年	視覚障害者情報総合ネットワーク「サビエ」開始 「日点みんなの集い」に皇后陛下のご臨席を賜る
2011（平成23）年	カセットテープによる録音図書サービスを終了
2014（平成26）年	川崎市視覚障害者情報文化センターの管理運営開始
2015（平成27）年	埴保己一賞貢献賞受賞
2017（平成29）年	指定特定相談支援事業および自立訓練（機能訓練）事業を開始
2018（平成30）年	日本点字図書館附属池田輝子記念ふれる博物館開設
2020（令和2）年	著作権法における図書館資料の複製が認められる施設に指定される

役 員

理 事 長	長岡 英司
常務理事	立花 明彦 館長
同	伊藤 宣真 本部長
理 事	芦田 真吾 東京都障害者介護給付費等不服審査会委員
同	相賀 昌宏 (株)小学館会長
同	岡本 厚 前(株)岩波書店代表取締役社長
同	迫田 朋子 元 NHK エグゼクティブ・ディレクター
同	寺尾 徹 (社福)浴風会理事長
同	三田 誠広 作家・(公社)日本文藝家協会副理事長
同	渡邊 岳 弁護士
監 事	野田 聖子 弁護士
同	吉田 正則 (公財)日本障害者リハビリテーション協会常務理事

評 議 員

青木 謙城	青木 隆一	稲垣 吉彦	大胡田 誠
加藤真由美	樽松 武男	白井 夕子	菅原 寿彦
杉上佐智枝	福島 智	星川 安之	本間 一明
山口かおる	和波 孝禧		

後援会長 阿刀田 高 (作家)

(敬称は省略させていただきました)



社会福祉法人 日本点字図書館

〒169-8586 東京都新宿区高田馬場1-23-4

電話 (03) 3209-0241 (代 表) FAX (03) 3204-5641

ホームページ <https://www.nittento.or.jp/> Eメール nitten@nittento.or.jp

寄付口座

ゆうちょ銀行 00180-2-792949 (寄付専用 手数料免除)

加入者名：社会福祉法人 日本点字図書館

取引銀行及び普通預金口座番号

みずほ銀行	高田馬場支店	普通	2855735
三井住友銀行	高田馬場支店	普通	92380
三菱UFJ銀行	高田馬場駅前支店	普通	167456

口座名：社会福祉法人 日本点字図書館 フリガナ：フク)ニッポンテンジトショカン

